

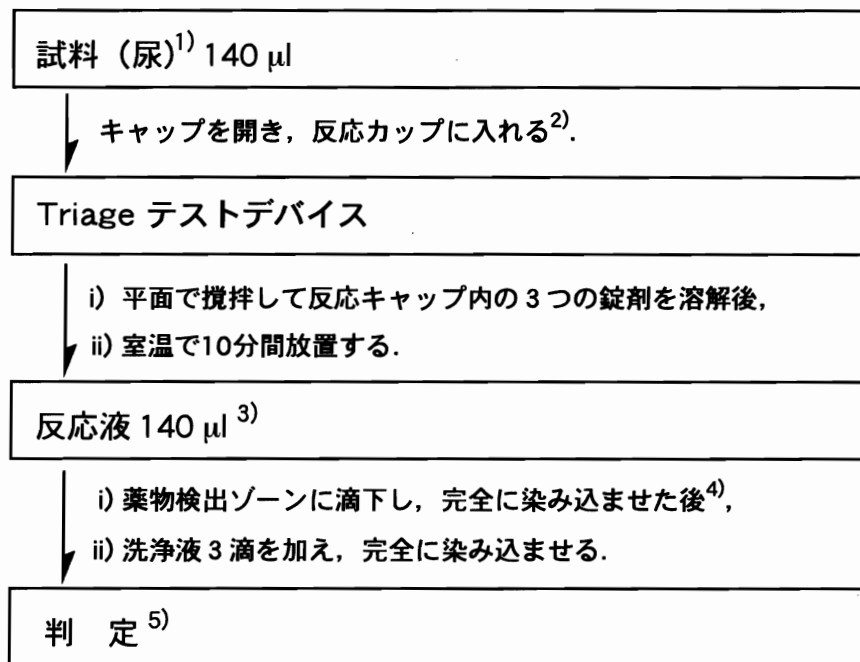
II. スクリーニング

1. 多種薬毒物 (群)

A. イムノアッセイ

(1) トライエージ (Triage)

i) 操作法



【注 解】

- 1) 試料は室温に戻して使用する。試料は沈澱物が多ければ、3000 回転、5 分間遠心した上清を用いる。試料 pH が中性域であることを確認し、必要があれば pH 調整をする。
- 2) 付属のピペットを用いて採取する（使用法は市販のエッペンドルフピペット等と同じ）。
- 3) 付属のピペットのチップを新しいものと取り替えて採取する。
- 4) この段階で、CTRL POS (control positive) ゾーンを観察し、着色帯の出現が認められれば、結果は有効である。CTRL NEG (control negative) ゾーンを観察し、着色帯の出現が認められれば、新しいテストデバイスを用いてやり直す。
- 5) 薬物検出ゾーンに赤色の着色帯が出現すれば、そこに記載されている薬物が陽性である。判定は3分以内に行う。
- 6) CTRL NEG が陰性（着色帯なし）、かつ CTRL POS が陽性（着色帯あり）であれば、期限切れであっても予試験には使用できる。
- 7) 本検査キットは尿試料用であるが、予試験的に血清に応用することも可能である。血清を用いる場合も、尿と同様の操作で差支えない。ただし、血清中薬物濃度がカットオフ値より低いことが予想される場合は、使用できない。
- 8) アンフェタミンのカットオフ値 (1,000 ng/ml) の解釈の妥当性については再考の余地がある。
- 9) 現在入手可能な Triage TCA+は、診断薬申請中のため、研究用に限って販売されている。認可までの暫定的手段として、臨床向けには、Triage 8 (PCP のかわりにメサドンが入っている) が 99 年 8

月より研究試薬として発売されている（輸入販売元は国際試薬，Tel. 078-231-4151）。

- 10) 同様のイムノアッセイキットとして、ビジュアライン（メタンフェタミン用，ベンゾジアゼピン用，輸入販売元はダイアトロン，Tel. 03-3863-6241）などが入手可能である。

表 1. Triage 検査キットで検出できる乱用薬物のカットオフ濃度

化合物	略 名	カットオフ濃度 (ng/ml)
Phencyclidine	PCP	25
Benzodiazepines	BZO	300
Cocaine	COC	300
Amphetamines	AMP	1,000
Tetrahydrocannabinol	THC	50
Opiates	OPI	300
Barbiturates	BAR	300